

【カヤノ平林道ボルダー】

令和2年8月6日 RCT/K

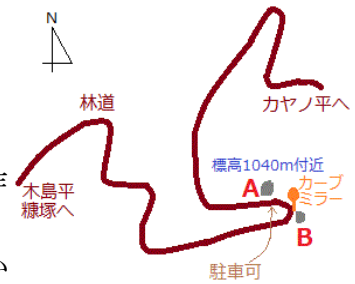
毎年秋山郷の切明まで、河原の温泉に浸かりに、木島平村のカヤノ平経由の山越えで何回か行っているが、昨年、その帰路の途中で、植林の中に、偶然にも大きなボルダー(A岩)を発見した。

昨年はトライのチャンスがなかったが、漸く今年の梅雨時になり、雨の中掃除と岩周りの整備を行った。その際、完全に蔦と苔に覆われて、昨年は存在を見落としていたボルダー(B岩)も見つかった。

その後、梅雨明けを待って、8月上旬に再度の苔落としとトライに出かけ、ほぼ想定ラインの課題は早々と解決することができた。

アクセスは、木島平村糠塚からカヤノ平林道を登っていくと、ちょうどカヤノ平との中間地点辺りになるが、標高1040m付近のヘアピンカーブの所に、カーブミラーがあり、その横にB岩が見える。車はカーブを曲がったところの広い部分に、邪魔にならないよう端に寄せて駐車する。

アプローチは殆んどなく、道路上の植林帯の中にA岩が見えるので、土手を上がれば目の前である。

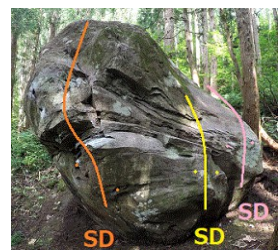
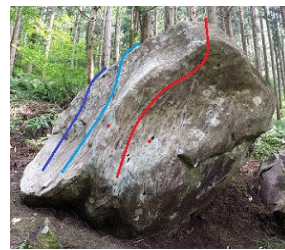
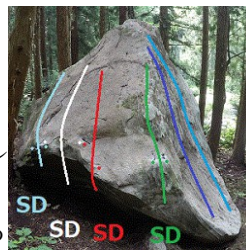


《課題紹介》

●A岩

トポ左:北面&西面 中央:西面&南面 右:東面

4mほどの岩で、正面(南面)はハングから上部は適度に穴のあるフェイスで難しそうだが、ほかの面はスラブやガバのフェイスで易しい。



南面の赤ラインが面白いが、もろに下からは登れず、左のスラブの

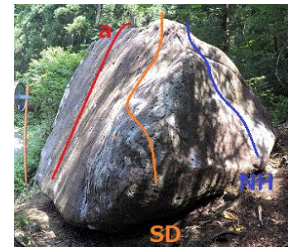
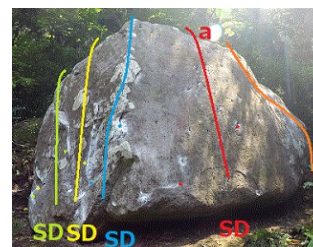
スローパーとフェイスの穴を使って右上し、最後はフェイス上部の穴のアンダーホールドを使って岩のトップに抜ける。

東面のオレンジラインは脆そうな部分があるので、クラッシュパッドは必ず敷いた方が良い。また、オレンジラインを左下(南面のハング下の方の穴)からスタートする課題は未解決である。

●B岩

トポ左:北面 中央:東面 右:東面&南面

ちょうどカーブの所にある2.5mほどのスラブ状の岩。スタートで体を上げるのに苦労する課題もあるが、全体的には易しい。



課題的に面白いのは、東面の赤ラインとオレンジ

ライン辺りであるが、他のラインも含めて、殆んどが核心はスタート部分である。

南面の紺のラインはノーハンドの課題で、バランスクライミングの練習に良い。